



亡命希望者の拘留は精神的健康に有害な作用がある



拘留は、亡命希望者の精神的健康に悪影響を引き起こす。

本レビューについて

このキャンベル系統的レビューは、拘留センターに収容中の亡命希望者の健康—精神的健康（PTSD、不安、抑うつ）や身体的健康、社会的機能を含む—への影響について検討する。本レビューには英国、日本、カナダ、オーストラリアの9の研究が含まれる。

拘留センターへ亡命希望者を収容することは、彼らの収容中と釈放後の両方の精神的健康に対して悪影響を及ぼす。

本レビューは何に関するものか？

紛争や迫害から逃れようとする人々の数は増加している。しかし、多くの国で亡命申請を望む人々をあきらめさせるために厳しい措置がとられている。最も多くの議論を呼ぶところのひとつは、亡命希望者を拘留センターに収容することである。そのようなセンターの数は増加している。

亡命希望者を拘留することによる健康への影響を理解することは重要である。亡命希望者は移住前に、戦争体験や虐殺、拘禁からくるトラウマを抱える割合が大きい。こうした経験によって亡命希望者は、精神的な問題の影響を受けやすくなっている。彼らを収容することは、彼らが既に経験したトラウマの影響を悪化させる可能性がある。

このキャンベル系統的レビューでは、亡命希望者を拘留することが彼らの精神的健康に影響を及ぼすかどうかを評価している。このレビューでは、亡命希望者を拘留することが彼らの身体的健康や社会的機能に対して悪影響を及ぼすかどうかについても評価している。

どのような研究が含まれているか？

本レビューには、拘留されている亡命希望者と拘留されてない亡命希望者を比較する研究が含まれている。合計で9件の研究が包摂要件を満たしており、8つの異なる亡命地域住民について分析していた。これらの研究は、英国、日本、カナダ、オーストラリアの4つの国で実施された。

比較されるグループ間に重大な違いがあること、あるいは方法論的に限界があることが原因で、研究のうち6件が分析から除外された。除外された研究のすべてがオーストラリアで実施されたものであり、オーストラリアでは拘留を義務化する政策がとられている。



人の移動の自由を制限するという選択は、その選択によって精神的健康へ悪影響が及ぼされることはないということが保証されるよう、注意深く監視されるべきである。

本レビューはどれくらい最新のものか？

本レビューの著者らは2013年11月～2014年1月の間の研究を調査した。本レビューは2015年9月に発行された。

キャンベル共同計画

Campbell Collaborationとは何か？

キャンベル共同計画Campbell Collaborationは任意かつ非営利の国際的研究ネットワークで、系統的レビューを発行している。私たちは社会科学・行動科学におけるプログラムに関するエビデンスの質を要約、評価している。私たちの目的は、人々がよりよい選択とよりよい政策決定を行なうことを手助けすることである。

本要約について

本要約はサイモン・グーディSimon Goudie（キャンベル共同計画Campbell Collaboration）によって執筆されたものである。本要約はCampbell Systematic Review 2015:13 'The Impact of Detention on the Health of Asylum Seekers' by Trine Filges, Edith Montgomery, Marianne Kastrup, Anne-Marie Klint Jørgensen (DOI: 10.4073/csr.2015.13)に基づいている。本要約はアン・メルビーAnne Mellbye (RBUP) がデザインし、タニヤ・クリスチャンセンTanya Kristiansen（キャンベル共同計画Campbell Collaboration）によって編集、作成された。

拘留はどのように精神的健康に影響を及ぼすのか？

拘留は亡命希望者の精神的健康に悪影響を及ぼす。拘留されていない亡命希望者と比較すると、心的外傷後ストレス障害（PTSD）や抑うつ、不安のレベルは、拘留前と釈放後の両方において、拘留されている亡命希望者のほうがより高くなるということが明らかになった。影響の大きさは臨床的に重要であった。

すべての研究が参加者の精神的健康を評価していたが、身体的あるいは社会的機能に関連する研究結果を報告しているものはなかった。

本レビューによる研究や政策的示唆は何か？

政策立案者への示唆

政策立案者は拘留よりも害のない政策的選択を考慮するべきである。この選択肢には、報告の要請、保証人、保釈、コミュニティでの監視などが含まれる。人の移動の自由を制限するという選択は、その選択によって精神的健康へ悪影響が及ぼされることはないということが保証されるよう、注意深く監視されるべきである。

研究への示唆

本レビューで要約された研究は、適度な質のものである。今後の研究では、拘留センターへ亡命希望者を収容することによる身体的健康や社会的機能への影響について評価する必要がある。拘留状況の違いによる亡命希望者への影響についても、さらに深い比較理解が求められる。